

Japanese Literature — 20



現代日本の文学

堀江 屋雄集

〈監修委員〉

伊藤 整

井上 靖

川端 康成

三島 由紀夫

〈編集委員〉

足立 卷一

奥野 健男

尾崎 秀樹

北 杜夫

(五十音順)

学習研究社

現代日本の文学

20

堀 辰 雄 集

全50巻

分割払価格 39,000円

現金価格 35,500円

昭和45年2月1日 初版発行

昭和48年2月1日 七版発行

著 者 堀 辰 雄

発行者 古 岡 勇

発行所 株式会社 学習研究社

東京都大田区上池台4-40

郵便番号 145 振替東京145

電話 東京(720)1111 (大)

印刷 大日本印刷株式

晩印刷株式

製本 文勇堂製本工業株式

本文用紙 三菱製紙株式

表紙クロス 東洋クロス株式

製函 日本紙パルプ商事株式

*この本に関するお問合せやミスなどがありましたら、
文書は東京都大田区上池台4丁目40番5号(〒145) 学習研究社
「ユーザー・サービス本部事務局」現代日本の文学係
電話は、東京(03) 720-1111 内線352,353か、東京(03) 720-1600へお願いします。

堀辰雄文学紀行

聖パウロ・カトリック教会(軽井沢)



私は教会の前を曲つて、その裏手の橡の林を突き抜けて行つた。私はときどき空を見上げた。いかにもまぶしそうに顔をしかめながら。

(「美しい村」)

軽井沢の万平ホテル(旧館)



ホテルの裏のテニス・コートからは
まるで三鞭酒を抜くようなラケットの
音が愉快そうに聞えてくるのである。

ホテルは鸚鵡

鸚鵡の耳からジュリエットが顔を出す
しかしロミオは居りません
ロミオはテニスをしているのでしょ
う
鸚鵡が口をあけたら
黒ん坊がまる見えになった

(「ルウベンスの偽画」)

軽井沢の並木道



野尻湖

第一、けさは朝霧が下りていると云うのでもなしに、変にうす曇っていて、空も湖水も一めんに鈍色だ。妙高にも、黒姫にも雲が無くて、輪廓だけがぼおつとぼやけて見えている。なんだかこのままこうして一日中曇ってしまいそうな、そんな心細い曇り方だ。

(晩夏)







富士見療養所の散歩道



菜穂子は毎日日課の一つとして、いつも一人で気持ちよく其処此処を歩きながら、野茨の真赤な実なぞに目を愉しませていた。温かな午後には、牧場の方までその散歩を延ばして、柵を潜り抜け、芝草の上をゆつくりと踏みながら……

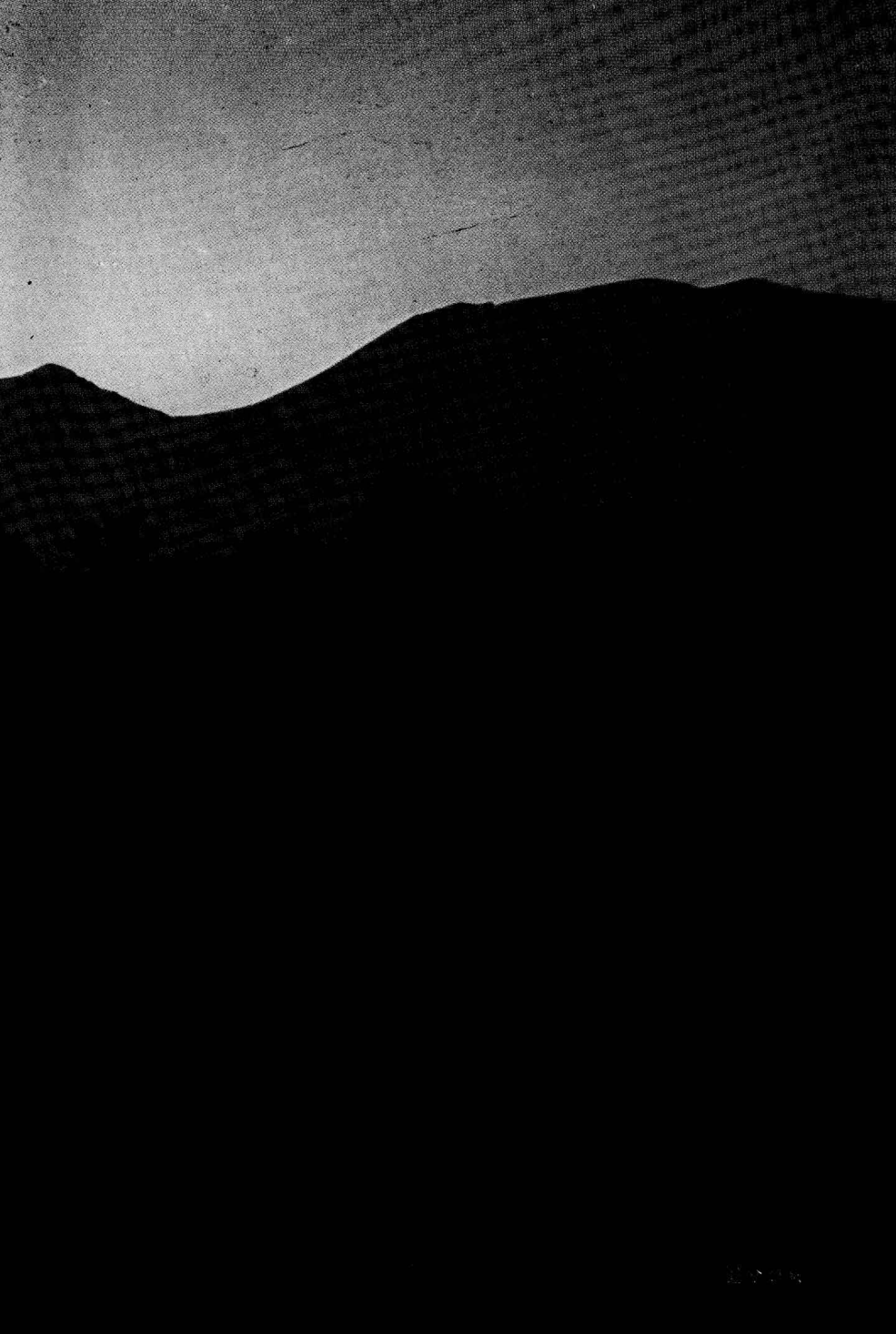
（「菜穂子」）



此为试读, 需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com



「日本の文化」





この春、僕はまえから一種の憧れ
 を持っていた馬酔木あしびきの花を大和路の
 いたるところで見ることができた。
 そのなかでも一番印象ぶかった
 のは、……浄瑠璃寺じやうるりじの小さな門のか
 たわりに、丁度いまをさかりと咲い
 ていた一本の馬酔木をふと見いだし
 たときだった。（「大和路・信濃路」）





法隆寺遠望(「大和路・信濃路」)